

新聞を読んで考える力を身につけよう  
- 批判的思考能力を身につけるには -

開倫塾  
塾長 林 明夫

## 1. はじめに

(1)おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

(2)学力を身に付けるにはどうしたらよいかについてお話をしているのが、この「開倫塾の時間」です。学力を身に付けるには、2つの条件があります。

1つは、勉強の仕方を身に付けることです。どのように勉強を進めたらよいかという自分なりの勉強の仕方を身に付けることが、学力を身に付ける1つの前提です。

もう1つの前提は、本をよく読むことです。本を読むことの中には、新聞を読んで考えることも含まれます。

(3)そこで、今日は、本を読むことの一環として、新聞を読む習慣を身に付けていただきたいというお話をいたします。

2.(1)私は、小学生は20分、中学生は40分、高校生は60分以上、新聞を毎日読んで考えてみるのがよいのではないかと考えています。新聞を読むと、考える力が身に付きます。ですから、最初の1ページから最後の1ページまでをゆっくりじっくり読んで、いろいろなことを考えていただきたいのです。

(2)皆様は、家でとっている新聞を何時間かけてスミからスミまでなめるように読んでみたことがおありでしょうか。新聞を一面から最後のページまで時間をかけてゆっくりとなめるように読むことを何度か行くと、新聞にはどのようなことが書かれているかが少しずつわかってきます。

何が書かれているかがわかってくると、世界のことも、アジアのことも、日本のことも、地域のことも、栃木県のことも、自分の住む市町村のことも、また、身のまわりで起こっていることも、少しずつわかってきます。つまり、新聞を読むと、世の中ではどのようなことが起こっているのかが少しずつわかってくるのです。

3 . ( 1 ) では、新聞にはどのようなことが書かれているのでしょうか。それは、世界中で起こっているさまざまなことのうち、その新聞社が「これは読者の皆様にぜひとも伝えなければならない」と選別に選抜されたものです。

( 2 ) 例えば、6 月には「足利事件」が各新聞に大きく報じられました。殺人事件の犯人とされ有罪の判決を下されて刑務所に収容されていた菅家さんが、無罪が証明されて釈放された事件です。

( 3 ) どの新聞でも一面(一番最初のページ)と社会面(後ろから 2 番めのページ、テレビ番組欄の前のページ)に大きく報じられました。

( 4 ) これを読んで考えたほうがよいことは、なぜ警察は菅家さんを犯人として逮捕してしまったのだろうかということ、なぜ菅家さんは自白をしてしまったのだろうかということ、なぜ検察官は菅家さんを犯人として起訴したのか、つまり有罪にしたほうがよいと判断して裁判所に訴えを起こしたのかということ、なぜ証拠の鑑定をした人は菅家さんの不利になるような鑑定をしてしまったのだろうかということ、なぜ裁判官は有罪判決を何回も下してしまったのだろうかということなどです。

( 5 ) 各新聞社の記者の方は、このようなことが一体どうして起こってしまったのかを徹して取材し、気の遠くなるような膨大な情報を得たうえで記事になさっています。そして、その記事は、編集長の編集を経て私たち読者に届けられています。

( 6 ) ですから、足利事件を扱った記事を読んで私たちが考えることは、まだまだたくさんあります。例えば、どうしたら真犯人を時効の成立前に逮捕できるだろうか。幼児・児童に対する殺人事件をどうしたらなくせるか(これは、皆で考えなければならない問題だと思います)。無実の人を逮捕したり起訴したりしない、つまり有罪にしないためにはどうしたらよいか。自分がやっていないことで逮捕されたり、起訴されたり、裁判にかけられたりしたらどうするか。これらはすべて考えなければならない大きなテーマですので、新聞を読んで考えたほうがよいと思います。

4 . ( 1 ) 新聞を読んで考えることで身に付く能力は、批判的思考能力です。世の中や自分の目の前で起こっていることが果たして正しいことなのか、もしかしたらおかしいのではないかと間違っているのではないかと自分で考える力が身に付きます。

( 2 ) 自分の行動には自分で責任を持たなくてはならないことを、自己責任と言います。新聞を読んで考えると批判的思考能力が身に付きますが、それは自己責任の前提条件になると言えます。

(3)新聞を読むと世の中のことがたくさんわかってきますから、将来どのような仕事に就けばよいかを考えるときにも役に立ちます。また、何のために勉強するのか、何のために進学するのか、進学した先で何を学んだらよいかも少しずつわかってきます。

(4)新聞のスポーツ欄や科学欄、文学・読書欄、料理・囲碁・将棋・健康のページは最高です。投書や意見を述べる欄、人生相談のページなども面白いことこの上なしですので、ぜひ新聞に親しんで毎日読んでいただければと思います。

## 5．おわりに

小学生は 20 分、中学生は 40 分、高校生は 60 分以上新聞を読んで、批判的思考能力を身に付けて下さい。これは、自分自身で生きていくうえで非常な力になります。この力は一生役に立ちますので、どうか新聞を読んで下さいね。お願いします。